

平成23年度（2011年度）事業計画

1. 試合管理について

- (1) ボクサー、マネージャー、プロモーター、トレーナー、セコンド他ボクシング関係者に対する資格審査ならびにライセンス発行業務。
- (2) ボクシング試合開催に対する試合契約の承認、開催許可、試合の管理・運営。
- (3) 日本ランキングの決定、発表。
- (4) 試合役員研修会（月例）  
審判技術の向上、安全対策その他試合全般に対する研修。特に地区試合役員会との交流を通じて技術研修の強化を図る。  
構成：審判、検査員、進行、アナウンサー、タイムキーパー、ドクター他コミッション役員、日本プロボクシング協会役員（オブザーバー）

2. 選手の健康管理及び安全防護について

- (1) リング事故防止のために安全対策ならびに、これらに関する諸規則の周知徹底を期す。  
その方策として、
  - (A) 試合出場選手の健康管理について指導をさらに継続強化していく。
  - (B) ヘッドバッティングなど対戦者に深刻なダメージを与える重大反則には厳しく対処する。そのためにレフェリーを始め関係者に対する指導を徹底する。
  - (C) 早期レフェリーストップによって頭部外傷からのリング事故防止に努める。
  - (D) 選手の直接指導にあたるトレーナー、マネージャー等に対して、選手管理に万全を期させるための一環として医事講習会、審判講習会などの開催を積極的に行う。
- (2) 試合でダメージを受けたボクサーに対して CT（又は MRI）を含む精密検査の実施により、二次的なダメージの防止につとめる。また、ボクシング不適格者基準を整備し事故の事前防止に努める。
- (3) 健康管理委員会の開催  
安全に関する海外の情報、資料の収集をはじめ、関係諸団体との国際交流を積極的にすすめる、日本ボクシングの発展に寄与せしめていく。  
特に JBC コミッションドクターの研究の成果、データ等を内外のボクシング関係者ならびに諸団体に発表する機会を設ける。  
コミッションドクターを主体として、コミッション役員、試合役員、ボクシング協会メンバーの出席をも必要に応じて求める。  
研究成果の発表ならびにボクシング関係者に対して指示、通達を行う。
- (4) 安全防護・健康管理に対して日本プロボクシング協会との共催で合同医事講習会を開催する（恒例）。  
ジム内での事故防止、安全防護の徹底を企図しセコンド講習会、トレーナー講習会を

実施する。

- (5) 第二回全国ドクター会議の開催  
全国のコミッションドクターによる各種講義、研究発表の場の提供をもってドクター間の情報交換、情報共有を図る。
- (6) 負傷ボクサーの為のチャリティイベントの開催（5月後楽園ホールで予定）  
リング事故による負傷ボクサーの支援の一環としてチャリティイベントを開催するとともに、負傷ボクサーのデータ収集など併せて行う。
- (7) ボクサーの健康診断書のデータ化を促進し、もって選手の健康面のチェック機能の万全を図る。

### 3. 女子ボクシングの活性化

2008年度のプロ化に伴い、より一層の活性化を図る。

### 4. ジュニア層（15歳以下）のボクシングの活性化

日本プロボクシング協会と協力しジュニア層のボクシングの活性化を図る。2011年9月に第4回U-15全国大会を協会と共催予定（後楽園ホール）。

### 5. 紛争処理について

試合契約その他ボクシングに関する事項について、ライセンス者からの提訴の受理、調停ならびに裁定業務の推進（JBC 試合ルール 114条）。また、紛争を予め防止するため JBC ルール所定の契約書の作成等について指導する。

### 6. コンプライアンスの徹底について

- (1) JBC 組織犯罪対策室の設置にともないその活用の十全化を図り、暴排条項を整備、補完する。
- (2) JPBA に対してコンプライアンスの周知徹底を指導する。

### 7. 国際交流について

- (1) WBA（世界ボクシング協会）第90回年次総会開催予定。
- (2) WBC（世界ボクシング評議会）第49回年次総会は、ポーランド・ワルシャワで開催予定。
- (3) OPBF（東洋太平洋ボクシング連盟）第50回年次総会は、本部国日本（東京都）で開催予定。  
上記年次国際会議に JBC 代表を送る。
- (4) 前記の国際組織ならびに加盟諸国との連携を強化、相互の友好促進に努め、ボクシングの正常な発展と国際親善の高揚に役立たしめる。

- (5) OPBF（東洋太平洋ボクシング連盟）の会長国として（2014 年末まで）タイトル承認、ランキング発表等を行う一方、ボクシングを通じてアジア・オセアニア地区諸国との国際親善を図る。

**8. アマチュア団体との連携協力について**

プロ・アマの連絡機関を通してボクサーの安全対策並びに両者の技術の向上に関して意見交換を行う。

**9. プロ・アマ功労者並びに試合役員功労者の顕彰について**

プロ・アマ年間表彰選手選考・決定（12 月選考、1 月表彰）、及びボクシング全般に対する功労者の顕彰を行う。

**10. ボクシングに関する内外資料収集、保存、調査、研究について**

ボクサーの戦績記録他各種記録、医事情報のデータベース化を図り事務処理等の迅速な対応を可能にする。

**11. 広報活動について**

ホームページの拡充、機関誌（ボクシング広報）の発行（月刊）、ルールの改編及びボクシング年鑑発行その他広報活動をより充実させ、このスポーツの認知、理解を社会一般に求める。

**12. 公益法人制度改革に伴う移行準備**

平成 20 年 12 月 1 日より施行された公益法人制度改革に伴い、新制度における公益財団としての法人格の認定を確実に滞りなく受けるための移行準備（定款変更等）を行うとともに、現行寄付行為との整合を行う。

**13. ボクシング殿堂（博物館）の設立について**

近時散逸が著しいボクシング関係資料等を収集、管理するためのボクシング殿堂（博物館）の設立を検討する。

また、設立準備のための展示会を開催する（5 月、後樂園ホール展示会場）。

**14. 社会貢献事業について**

ボクシング全体にわたって社会的地位の向上に努力すると共に、ボクシングを通じて国民の体位向上、青少年の健全な育成に資するためにボクシング関係者に対して適宜指導を行う。

法務省の推進する「社会を明るくする運動」への協力実績に対し平成 22 年 12 月 13

日法務大臣感謝状表彰を受けたところであるが、引き続き社会貢献に有意義な行事、事業に積極的に参加・協力する。その一環として、7月に予定される横浜市鶴見区更生保護協会主催の「第 61 回鶴見区社会を明るくする運動講演会」において、元東洋太平洋、日本ライト級チャンピオン坂本博之氏の講演会を実施する。

また、平成 22 年度に引き続き、1月 18 日には、浪速少年院(大阪府茨木市)において、第 3 回となる講演会を、WBC 世界フェザー級チャンピオン長谷川穂積選手を講師に迎え、実施する。